

新米パパの 育休取得体験記

大河原運送株式会社
総務課 杉本宏樹さん



ステップ1

妻が妊娠。
育児は大変そう。
僕に何ができるかな？

ステップ2

島田市のホームページで、偶然育メン応援奨励金を発見!!

平成28年7月
第1子誕生



ステップ3

社員同士の会話の中で、「実際取れるのかな」ともちかけてみる。

ステップ4

同社 経営戦略室の山田さんは、他にも育児休業対象の社員がいたので、いろいろ調べた。全国でも、育メン応援奨励金のような取り組みは少なく、静岡県内では三島市と島田市だけ。市の商工課に問い合わせ、手続きを進めた。

ステップ5

比較的業務の少ない時期を選び、10月に5日間の育休を取得。

取得後、同僚の反応は？

普段と変わらず特別にない。「久しぶり」って感じ。

▶杉本パパ育休の過ごし方

- ・生後3ヶ月で5日間育休取得。散歩をしたり、ミルクをあげたり。なるべく妻一人の時間を持てるように過ごしました。妻にはその間に美容院へ行ってもらったりも。
- ・お風呂にいれたり、オムツを替えたりは最初見よう見まねでやってみたが、自然とできるようになりました。
- ・夜泣きは爆睡して気づかないことも。ママってやっぱり大変ですね。

▶取得後の感想

- ・育児は大変と聞いていても、なかなか想像することが難しかったので、実際にやったことで、大変さを実感できました。育休はできれば取った方がいいと思います。取得したことで、その後仕事をしながら育児をする時に、スムーズに関われるようになっています。



とらなきゃ損??

育メン応援奨励金

男性が育児休業を取りたいと考えたときに、島田市には工夫や取り方次第で気軽に利用できる制度があります。今回はその制度を活用した本人(パパ)と事業所をパレットが取材しました。

男性が育児休業を取ったほうが良いと考えている県民の割合

56.0%(H13)

71.7%(H27)

実際の男性の育休取得率

2.9%(H27)

資料：静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査 (H27)、厚生労働省「雇用均等基本調査」

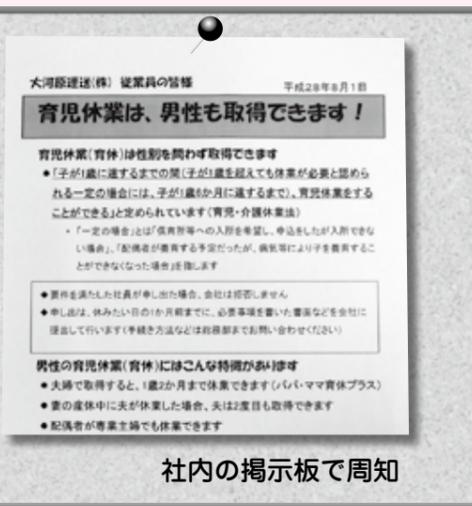
経営戦略室の山田さんより

杉本君との会話には、普段からお子さんや奥さんのことがいっぱい出てきて、日常生活の中で当たり前の子育てしているんだなと感じます。育休を取った人から、声を出して、「取ったほうがいいよ」と言ってほしいと思います。また同じ頃、市外在住の社員が育休取得予定でしたが、この制度の対象にはなりません。本人が市内勤務で市内に住んでいない場合でも、企業が対象になれば、この制度はもっと利用されるかもしれないと思い、市の商工課へ提案させていただきました。

平成29年度から対象を拡大しました(商工課)



▲山田さん(左)、杉本さん(右)



僕達も取得しました



磯崎和樹さん(金谷天王町)

制度を知ったきっかけは?

2年前、妻の友人から教えてもらった。

育休を取得した理由は?

産休終了と同時に上の子が保育園を退園しなければならず、核家族で周りに頼れる人がいないので、子どもの首がすわるまで育休を取ってほしいと妻に頼まれた。

▶磯崎パパ育休の過ごし方

- ・生後3ヶ月で1.5ヶ月間育休取得。公園へ行ったり、遊園地へ行ったり、動物園に行ったり、とにかく上の子どもと遊んでいました。
- ・一日中子どものペースと一緒に遊ぶことや外出先で面倒を見るのは大変でした。

▶取得後の感想

- ・ママっ子だった上の子が、少しパパっ子になったのは嬉しかったです。
- ・一緒にいることで、子どもの成長を直に見ることができました。ぜひ育休を取得してみてください。



山下 翔さん(稲荷町)

制度を知ったきっかけは?

母子手帳の手続きのとき、保健福祉センターで説明を受けた。

育休を取得した理由は?

子どもが生まれてからの時期を一緒に過ごしたかった。妻の不安を軽減したい。会社で取得できる制度があり、取得しやすい環境だった。

▶山下パパ育休の過ごし方

- ・生後1ヶ月で9日間育休取得。掃除、洗濯、洗い物の家事、おむつ替え、ミルク、沐浴、寝かしつけなどをしました。
- ・月齢が低い時は、よく泣いたり、寝なかったり、泣いている理由もわからない、起きている時はかなり多くの時間抱っこしていなければならないなど、睡眠時間も少なくなるので気持ちの余裕がなくなり大変でした。

▶取得後の感想

- ・家事をしながら子育てをする大変さを身をもって知り、妻の気持ちがほんの少しですが共感でき、とてもいい経験になりました。
- ・子育てする男性は、ぜひ育休を取得して、妻と子供と一緒に時間を共にして、色々な事を分かち合ってみてください。



パレットちゃんから一言

おむつ替えや沐浴など、実際に赤ちゃん向き合っている育休経験ができる時間として、育休を取る選択肢も普通にある世の中に近づきつつあるんだな~。育児を「手伝う」ではなく「普通の生活のこと」と感じているのが印象的。特に産後の女性の心身の回復時にパートナーと話し合い、率先して育児や家事をしてくれることで、その後のパートナーの育児への関わりやすさと同時に、夫婦間にもいい信頼関係を築けていけると思う。まだまだ少ない男性の育休取得。職場では、ぜひ、男性も育休を言い出しやすい環境づくりを進めてほしいな。

育メン応援奨励金

男性が勤務日で連続して5日以上育児休業を取得すると、男性本人とその事業所に「育メン応援奨励金」が交付されます。(対象者には条件があります。)

- ◆男性本人 1日5千円(上限10万円)
島田市の金券を交付します。
 - ◆事業者 1日5千円(上限10万円)
- 詳細、お問合わせは、島田市ホームページまたは商工課へ ☎0547-36-7164